（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	リズム大塚			
○保護者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年9月　15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	27	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年　9月　15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士が意見を出し合ったり相談しやすい環境があり、適切な支援の提供につながっている。	日誌、回覧板、報告書、ミーティングの場など、情報共有するためのツールや場を十分に活用することができている。	職員一人一人がその日の活動プログラムの立案までできるようになると、職員相互の話し合いの質が向上する。
2	利用者様の情報について、保護者様と共通理解を得ることができている。	送迎時の申し送りや定期的な面談にて、ご家庭、学校、放デイでの様子を共有することができている。	保護者会などを開き、事業所での活動の様子をより詳細に紹介する機会を設ける。
3	利用者様が不穏やパニックにならないように、個別空間を提供したり、部屋を区分けできるようにしている。	静養室の活用、部屋に仕切りを作り空間を分ける、集団を分けて別々に活動するなどの工夫をしている。	集団への参加が難しい方も、できるだけ長く集団に関わる機会が増えるよう支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など、保護者様同士が横でつながる機会がない。	土日は職員を集めることが難しく、平日の営業日は利用者様がいるため開催が難しい。	利用者様が学校に行っている平日の午前中などの開催を検討する。
2	外部研修の機会が減ってきている。	会社全体で職員を一同に集めることが難しい。	リモートで受けることができる研修など、集まらなくても受けられる研修を検討する。
3	地域との交流機会が少ない。	地域のどことつながれば良いかの情報が少ない。	地域で行われているイベントなどに活動として参加し、地域交流を図る。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リズム大塚

公表日　令和8年10月25日

利用児童数　27　回収数　15

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	0		室内活動や外出活動を組み合わせながら活動スペースの確保を工夫しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3	0	3		規定の人員配置で運営しております。ご不明点がございましたらいつでもご連絡ください。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	2	見たことがないので、分からないです。	ご要望に応じてご見学も承っております。いつでもご連絡ください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	1	見たことがないので、分からないです。	ご要望に応じてご見学も承っております。いつでもご連絡ください。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	1		支援に関してご不明点やご相談などございましたらいつでもお問合せください。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	15	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2	0	0		お子様が楽しく参加できる活動を考えてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	5	6	色々な場所へ連れて行って頂きありがとうございます。	公園などで交流する機会があります。今後更なる交流の場を増やすために児童館や地域のイベントなどへの外出も企画しております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	4	5		研修会や情報提供の機会はございませんでした。ご要望に合わせて開催の検討や情報提供ができるよう整備してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	0	0		面談や日々のご相談に合わせて対応させていただいております。気になることがございましたらお気軽にご連絡ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	4	6	保護者会というか座談会的なものがあれば嬉しいです。	保護者会やイベントは開催できておりません。現在開催に向けて準備を進めておりますので準備が整い次第お知らせいたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	1	0		相談窓口が不明瞭になっておりご迷惑をおかけしております。今後相談窓口を明確にし迅速に対応できる体制を整備してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	2		毎月の通信にて活動報告を行っております。SNSの更新ができておりませんので更新も積極的に増やしていきたいと思います。自己評価についてはホームページで公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	2		利用者様の情報は厳重に保管・管理しております。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	2		各種マニュアルは策定されております。マニュアルに沿って所定の回数と必要に応じた訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	2		半年に一度避難・防災訓練を行っております。また必要に応じて避難経路確認なども随時行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	13	0	0	2		安全計画の策定を行い計画やマニュアルに沿って支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	1		事故・怪我が発生した際はお電話と送迎時に申し送りさせていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	2	0	1		お子様がより一層安心・安全に楽しく過ごせる環境を整備してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0		今後もお子様一人一人に合わせた丁寧な支援を行っていけるよう、スタッフ一同努めてまいります。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	リズム大塚

公表日　令和8年10月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	こどもの課題に応じた集団分けを行い、静養室や複数のトイレも活用している。	利用人数が多い日は空間が狭くなるため、活動場所の工夫を続ける必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1		送迎時などに人手が不足し、外出活動を見送る場合がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	こどもの特性に合う支援道具を取り入れている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		日常清掃で届かない場所の清掃方法と、活動空間の確保が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日の会議で、支援内容を振り返っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		評価表を集計後、全職員へ周知を行い業務改善を検討する必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員が上司へ意見や相談を伝えやすい環境を整えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		第三者による外部評価は行っていないが、会社全体で複数の事業所があり、施設長会議などの場で課題などを協議する機会を設けていることの周知の必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		職員が研修へ参加できる機会をさらに確保する必要。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	会議で支援プログラムに関する報告を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員が意見を出し合い、協力して支援計画を検討している。	支援計画の検討内容をさらに充実させる必要。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	毎日の行動観察を業務日誌へ記録し活用している。	フォーマルアセスメントが活用できていないため、ツールの整備を行い活用に向けた準備が必要。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		各支援区分の内容を継続して見直し、具体性を高める必要。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員同士で意見を出し合い、活動を立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	会議で、個別活動と集団活動の組み合わせを話し合っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	会議を行い、実施できない日は職員用の連絡板で共有している。	祝日等も、支援前の確認時間を十分に確保する必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援後の気付きを、翌日の支援前会議で共有している。	支援終了当日の振り返り時間を確保する必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	今年度は、就学前の利用先との連携が必要な対象者はいない。	今年度は、就学前の利用先との連携が必要な対象者はいませんでいた。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	今年度は、卒業後の移行支援が必要な対象者はいない。	今年度は、卒業後の移行支援が必要な対象者はいませんでした。今後卒業へ向けてこれまでの情報を整理しスムーズな共有が行えるよう引き続きの準備が必要。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	4		センターとの連携の図り方のプロセスを把握し、情報収集に努めて研修などに参加することから始め、関係性を構築する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		公園や児童館への外出では十分な交流が図れないため、イベントへの参加や自主開催などの検討も行い地域との交流の機会を考える必要。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		協議会へ参加はしているが情報の周知が不足していた。今後積極的な参加と情報共有を徹底する必要。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		職員がご家族支援についての知見を深め、今後の研修実施へとつながるように努めるとともに外部の研修など必要に応じて情報提供も行えるようにする必要。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5		保護者やきょうだいが交流できる機会を計画する必要。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2		月に一度の通信で活動報告を行っているが、SNSなども活用し情報発信の頻度を増やす必要。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		事業所としては販売会などを行っているが参加ができていない。参加できるよう事業所内で話を進めていく必要。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食物アレルギーの情報を保護者から受け取っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		